

中津高等女学校校歌 古歌

一、旭岡の花の蔭

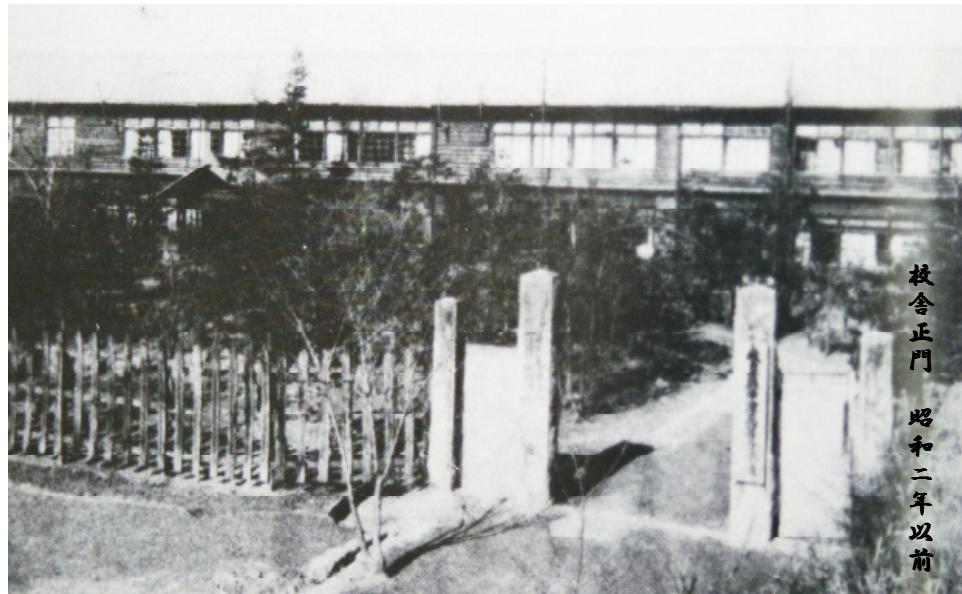
中津川辺の月のもど  
四季の眺めをみなここに  
集めてたてる学びの舎

二、春を待ちえて咲き匂ふ

花を学びの友とせん  
秋てる月のくまなきは  
我等が心のかじみなり

三、すめら御園の女てふ

道をたどりてまよはずも  
送りむかふる春秋を  
もつみて共にいそしまん



創立当初の校舎



明治四一年一九〇八年二月、紀元節式後の  
成績品展覧会開会式において、校友会歌として  
令唱した歌が、事实上の校歌として二〇年  
以上歌い続けられてきた。作詞作曲者は伝え  
られていよい。「旭陵百周年」より